

# 1年 音響&映像メディアクリエイイト学科(音響エンタメ研究) 授業科目概要(2020年度)

科目区分	番号	授業科目名	授業科目概要	担当者(☆主担当)	実務経験	学年	コマ数	授業時間数	単位数	授業形態	
一般科目	1	現代倫理	倫理学を基調として現代の青年たちに欠落している面を追及し、「全人教育」に向ける。「生きる」ことの意味を考察させることから、さらに「働く」ことの意味を考えさせる。	谷澤清	—	1	32	64	4	講義	
	2	ビジネス文書技法	あらゆるビジネスシーンに必要なパソコンアプリケーションのワープロ・表計算についての活用技法を学ぶ。また、就職活動におけるメールの作法も身につける。	原木伴美	—	1	32	64	4	講義	
	3	一般教養	就職活動をする際に最低限必要となる文章理解と数的処理の知能を身につける。	中村健太郎 五味正太郎	—	1	16	32	2	講義	
	4	企業研究1	採用側は、自社に貢献する人材を求め、産業経済・社会の変化が急激な現代では、「環境適応力」に優れた人材の価値が高まっているなか、「キャリア自律」について理解をする。	橋野幸男	—	1	16	32	2	講義	
専門科目	5	検定対策	企業人にとって必要な、ビジネスの基礎知識とスキル(特に入社1年目までに必要とされる)や、社会人常識を総合的に身に付ける。最終目標として、「ビジネス能力検定3級」、「社会人常識マナー検定3級」の検定取得を目標とし学習する。	中村健太郎 五味正太郎	—	1	32	64	2	演習	
	6	デジタルデザイン基礎	Photoshop、Illustratorの操作・デザイン技術を学ぶ。	柿澤志保	IT企業・フリーランスでwebデザイナー、フロントエンジニアとしての実務経験	1	32	64	2	実習	
	7	デジタルデザイン応用	コンテンツの作成や編集に加え、デザインの心理的効果も織り交ぜながら技術の習得を目指す。	柿澤志保	IT企業・フリーランスでwebデザイナー、フロントエンジニアとしての実務経験	1	32	64	2	実習	
	8	レコーディング基礎	各パートのレコーディング技法の基本的知識を学び取得する。さらに、セッティング、レコーディングを実際に行えるようにする。	坂本弘樹	総合音楽スタジオでレコーディングエンジニア、PA・音響オペレーターの実務経験	1	32	64	2	実習	
	9	レコーディング応用	レコーディングで重要なことの1つに、楽曲を正しく理解するためにスコアのアナリゼができることがあがる。スコアが読め、楽曲分析をおこない、それをレコーディングに活かすことのできる能力を身につける。	坂本弘樹	総合音楽スタジオでレコーディングエンジニア、PA・音響オペレーターの実務経験	1	32	64	2	実習	
	10	PA基礎	音楽イベントなどの様々な催事を彩り、支えるPA=音響・照明エンジニアに必要な技術を1からマスターすることを目指す。ミキシングコンソールやパワーアンプ、エフェクター、スピーカー、マイクロフォンなどPAで扱う全ての機材や音の基本を知る。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	64	2	実習	
	11	PA応用	基礎で身につけた知識に加え、実際にミキサーや周辺機器を用いて実習を行っていく。前期で学んだ知識を深めていき、実際の機器の操作技術を身につける。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	64	2	実習	
	12	音楽理論	中学校や高校で学んだ楽典の知識の復習から始め、スケール、コード、コード進行などの音楽の知識を学ぶ。最終的には作曲(DTM)でこの授業の知識を実践的な作曲技術へとつなげることを目標とする。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	64	2	実習	
	13	音響工学基礎	「音」や「電気」、「機器」などの音響という仕事に関わるものを学ぶ。環境や状況によって音が如何に変化するかを学ぶことで、仕事につながる知識を学ぶ。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	64	4	講義	
	14	DTM基礎	パソコンを用いた楽曲制作や編集について学ぶ。実習を行うことで、DTMの基礎を身につける。	深澤正悟	アーティストとして、音楽プロデューサー、ディレクター、作曲提供などのアーティストとして、音楽プロデューサー、ディレクター、作曲提供などの	1	32	64	4	講義	
	15	DTM応用	コピー楽曲の打込みや、オリジナル楽曲の制作を経て、サウンドクリエイターとして必要な知識、技術を身につける。	深澤正悟	アーティストとして、音楽プロデューサー、ディレクター、作曲提供などの	1	32	64	2	実習	
	関連科目	16	プロゼミ	学生自身が考え、ラジオ番組を作ったり、ライブを運営したりなどを行う。原則、グループで動き、チームで動くことに必要な知識・技術も身につける。最終的にはグループごと学内発表の場においてプレゼンをする。	☆五味正太郎 落合布暁	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	64	128	4	実習
	合計						合計	512	1,024	42	
	実務経験者合計							384	768	28	